

令和5年9月1日（金）に町内会役員を対象とした「令和の町内会講座」を開催しました。講座には50名の方にご参加いただき、町内会の現状と課題や令和の町内会運営のヒントについて講義を聴いたのち、グループに分かれて「令和の町内会運営に向けて今できること」をテーマとしたワークショップを行いました。

《開催概要》

日 時：令和5年9月1日（金）18:30～20:30

場 所：オンワード樫山仙台ビル10階ホール

参加者：50名

内 容：講義／ワークショップ／発表・まとめ

■ 講義

講師の(株)Glocal Design 酒本宏氏から、町内会の現状と課題から、令和の町内会運のヒントとなる3つのアクション「必要性を実感してもらう活動」「参加しやすい組織体制」「デジタル化による効率化と情報発信」について、効果的な手法や他町内会の事例等を交えた話題提供が行われました。

■ ワークショップ

ワークショップでは、9グループに分かれ、「各世代のコミュニティのニーズ」を考えました。その後、「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」についてアイデアを出し合いました。

※グループごとの意見やアイデアは裏面をご覧ください。



ワークショップ全体のまとめ

●若い世代も集まることができるコミュニティの場をつくる

- ・ 地区集会所を活用しやすいようにルールを変える

●町内会（役員）を支援するサポーターをつくる

●若い世代・働く世代に町内会に入ってもらおう

- ・ LINEグループに入ってもらおう
- ・ 若い世代を取り込むために地域のイベント時に声かけを行う
- ・ 若い人と話す機会をつくる
- ・ SNSで情報発信を行う
- ・ 町内会未加入の人も参加できる仕組みをつくる

●デジタル化を進めるためのサポートがあると良い

●高齢者が活躍する食堂をつくる（高齢化対策）

●マンション（町内会）でも子どもや高齢者に対する見守りの仕組みをつくる

●担い手不足に対応して大きなイベントは連合町内会単位で実施する

- ・ 出店は屋台からキッチンカーに変えて負担を減らす
- ・ 防災訓練も活かして交流を図る

●顔の見える関係づくりを進める

グループごとの意見・アイデア

「令和の町内会運営に向けて求められる町内会の活動や取り組み」については、若い世代を取り込むために町内会活動を変化させる必要があると言った声が上げられました。具体的には、SNSやデジタルを活用して働き世代に参加してもらう工夫をする、子ども向けのイベントを開催し、町内活動に興味関心を持ってもらう等の意見が挙げられました。また、高齢者が集う場を設け、見守り等の取り組みを行う重要性が挙げられました。

グループ1

- 全世代ができるイベントを行う
- 町内会活動の見える化が必要
- 町内会以外の人ニーズも取り入れる
- 町内会の人みんな楽しいと思える場所づくり
- もっと使いやすい集会所を考える

グループ2

- 町内会主体から子ども会主体や若い世代主体などにしていく
- 運動会を開催し、新しい人を取り込む
- 住民アンケートをしてみる
- クラウドサーバーで書類を共有する
- ノウハウのある人を発掘したい

グループ3

- 若手に任せて高齢者は見守る
- 町内会を超えて様々な組織と一緒にいる
- SNSやホームページで情報発信
- 孤立する高齢者のために交流食堂を行う
- 将来の担い手を育成する

グループ4

- 町内会に加入していない世帯の子ども達も対象としたイベントをする
- 子育て世代の交流の場所を作る
- LINEを使った運営を取り入れる

グループ5

- 高齢者見守りの取り組みを考えている
- 各戸に安全装置・見守り担当を設置
- 町内会活動の変化が必要である

グループ6

- 防災訓練を芋煮会と一緒にいる
- イベント時にキッチンカーを利用して屋台の代わりにする
- 連合町内会で協力してイベント等に参加する

グループ7

- 現役世代が町内会に参加しやすいようグループLINEを作り、参加してもらう
- 町内会参加を促すために世代を超えた集まりを開催する
- 町内清掃等に参加してくれた人に景品を出し、子どもの参加を促す

グループ8

- 顔を見て話ができる関係づくり
- 町内会のサークルで子ども食堂を行う
- おみこしや出店を実施する

グループ9

- SNSで情報発信するために、研修会等を実施する
- 子ども向けイベントを実施する
- 自主的に花壇の整備に参加してくれる方を募る
- 高齢者向けにサロンや麻雀大会を行う

